

保管用 屋内専用

フレキシブルP-1シリーズ P型1級複合受信機

品番 BVF 33□□H (壁掛型)

品番 BVF 34□□F (自立型) (□□は回線数)

施工説明書

施工される前に

- 正しく施工していただくために必ずお読みください。
- 施工するには、電気工事士・消防設備士（甲種第4類）の資格が必要です。
- 施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書などをお渡しください。
- 万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。
- 火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

●受信機の連動データなどの現場調整設定内容の記録は施工責任者が保管してください。

●現場調整設定が必要です。
必ず設定マニュアルを参考に設定作業をしてください。

⚠ 警告

- 受信機の表面が汚れた場合、水をつけたり・水をかけたりして汚れを落とさないでください。
感電・故障の原因となります。

〔詳しくは取扱説明書の「お手入れ方法」を参照してください。〕

⚠ 注意

- 受信機の扉の開閉にはご注意ください。
180°以上、扉を開けると扉の変形や他の物品を破損するおそれがあります。

生産終了品


この商品は生産終了につき
製造することができません


安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
---	-----------------------






 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
---	----------------------------------

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次は図記号の例です。)

	してはいけない内容です。
---	--------------

	実行しなければならない内容です。
---	------------------

警告

 分解禁止	機器を分解したり、修理・改造はしない。 感電・故障の原因となります。
 必ず守る	電源(AC100V)を切り、予備電源用の電池を取りはずした状態で施工する。 活線工事は感電や発熱・故障の原因となります。
	施工説明書にしたがい、その質量に十分耐えるように、または転倒しないように 強固に取り付ける。 安易な取り付けは脱落・転倒によるケガの原因となります。
	AC100V専用です。接続前に入力電圧の確認をする。 AC100V以外の電圧では発火・発熱の原因となります。
	AC100V用電源端子は確実に締め付ける。 締め付けが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。
	速結端子は確実に差し込む。 差し込みが不十分な場合、不動作の原因となります。
	ヒューズ交換は電源(AC100V)および電源スイッチを切った状態で行う。 電源を切らないと、感電の原因となります。
 禁止	電池は必ず接続する。 電池を接続していないと停電時に機能しません。
	AC100V端子の電源端子カバーは工事終了後、必ず取り付ける。 感電の原因となります。
 禁止	水や雨のかかる場所(屋外など)および湿気が多い場所(給湯室など)には設置しない。 感電・故障の原因となります。
	小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。 発火・発煙の原因となります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で受信機をさわったり、水をつけたり、水をかけたりしない。 感電・故障の原因となります。

注意

 アース線接続	アースの接続は確実にを行う。 使用時や漏電のときに感電する おそれがあります。	 必ず守る	据付作業は落下・転倒防止の ため、必ず2人以上で作業する。
---	---	---	----------------------------------

もくじ

安全上のご注意	1
1. 付属品	4
2. 施工上のご注意	4
3. 機能設定	5~6
4. 取付方法	7~8
●壁掛型の場合	7~8
●自立型の場合	8
5. 全体の接続方法	9~10
6. 接続個数	11
7. 地区ベルとの接続	12
8. 非常放送設備との接続	13~14
9. 住宅情報盤との接続	15~16
10. 住宅情報盤と非常放送設備(音声警報機能付)との接続	17~18
11. 防排煙機器との接続	19
12. 地区表示・諸警報表示・その他のラベル表示について	19
13. 施工後の確認方法	20

1. 付属品

- 取付用部品 **工事用** (終端抵抗器など) … 1セット
- 予備品 **保管用** (ヒューズなど) … 1セット
- 電話機 … 2台
- 電池 … 1コ
- 施工説明書(本紙) … 1冊
- 取扱説明書 … 1冊
- 設定マニュアル … 1冊
- 設定表 … 8枚
- お客様ご相談窓口のご案内 … 1枚

2. 施工上のご注意

- この商品は **屋内専用** です。屋外・屋側には設置しないでください。
- 接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。

■地区ベル接続時のご注意

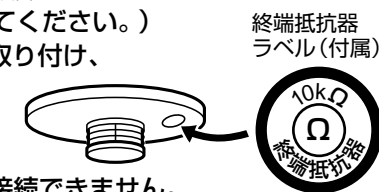
- 必ず受信機の地区ベル接続容量以内で使用ください。
- 建物のリニューアル時などで受信機を交換する場合は下記内容にご注意ください。
 - 1.地区ベルが当社BV9212・BV9213の場合はBV92631・BV92641に、当社BV9214・BV9214Kの場合はBV92541・BV92551に交換が必要です。
 - 2.地区ベルが他社製の場合は、地区ベルのメーカーに駆動方式が電磁式でないことを確認してください。電磁式の場合は、受信機の内部回路を破壊するおそれがあります。

■次のような場所には設置しないでください。(誤動作・故障の原因となります。)

- 直射日光の当たる場所
- 水滴、蒸気、ホコリなどがかかる場所
- 周囲に操作上支障となる障害物のある場所
- 衝撃、振動などの影響を受ける場所
- 常に人がいなくてようすを確かめられない場所
- 薬品などのガスが発生する場所
- 強電界やノイズの発生する場所

施工時のご注意

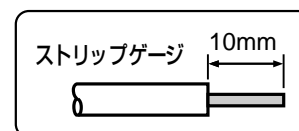
- 工事・施工時のゴミなどは機器の中に残さないでください。ショートや故障の原因となります。
- 電線接続部は圧着スリーブなどで行い、絶縁処理をしてください。
電線をよじっただけでは、長期使用中に電線表面が酸化接触不良をおこし誤動作の原因となります。
- 強電ライン・AC100V配線と小勢力配線は離して施工してください。
強電ライン・AC100V配線が小勢力配線の近くにあると誤動作の原因となります。
- 接続方法に示す機器以外の機器を接続する場合には、当社へご相談ください。
不適切な接続は誤動作・故障の原因となります。
- 他社商品との接続は、仕様をよく確認してください。仕様が合わないとは誤動作・故障の原因となります。
- アースは必ず接続してください。(D種(第3種)接地相当以上(100Ω以下)としてください。)
- 感知器配線の終端に終端抵抗器(10kΩ)(付属)〔当社品番: BV9840010〕を取り付け、終端抵抗器ラベル(付属)を貼り付けてください。(5.1kΩも対応可能です。)
また受信機の交換時は、終端抵抗器をご確認ください。
指定以外の終端抵抗器は使用しないでください。
- 蓄積型感知器および蓄積式中継器・火災表示灯(BV9401K・BV9411K)は、接続できません。
- 光電式スポット型感知器(2信号)の加煙試験を行う場合は、試験復旧状態にしないでください。
光電式スポット型感知器3種の発報確認ができなくなります。



■速結端子のご使用方法

- 電線は必ず右記の単線を使用してください。 **小勢力端子** φ0.9~φ1.2

電線の接続方法



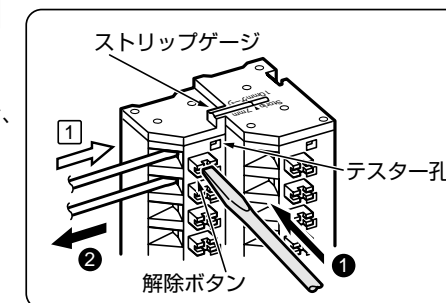
- 速結端子への入線は、1端子あたり、1本にしてください。
- ストリップゲージに合わせて電線被覆を10mmむき、①心線を奥まで確実に差し込む。
- 曲がった心線は使用しないでください。接触不良などをおこし、不動作の原因となります。

電線のはずし方

- ① ⊖ドライバー(小)で解除ボタンを押しながら
- ② 電線を引き抜く。

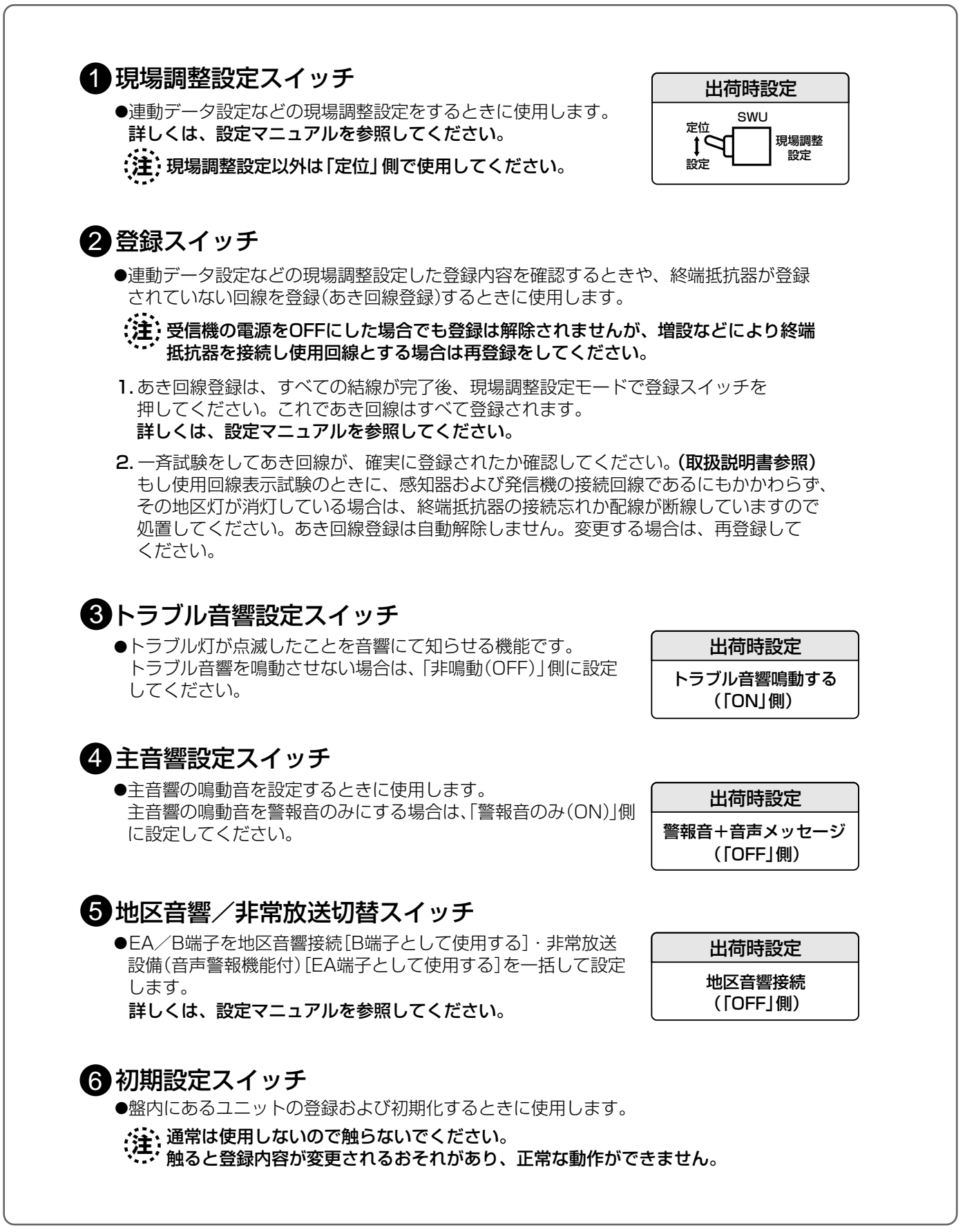
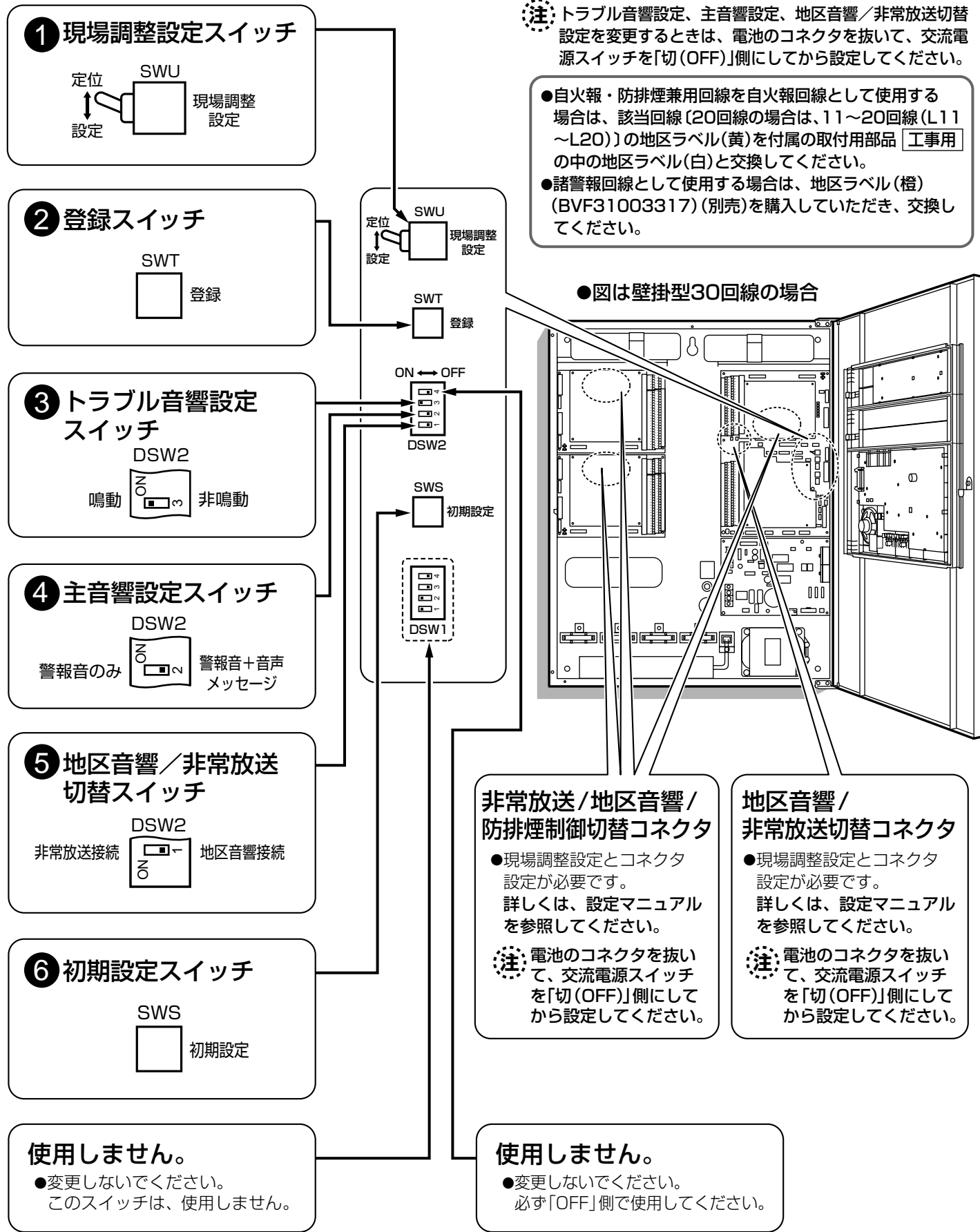
導通確認のしかた

テスター孔にテスター棒を差し込めば 結線したまま導通確認などができます。



3. 機能設定

注 そのほかの機能設定については付属の設定マニュアルを参照してください。



4. 取付方法

■壁掛型の場合

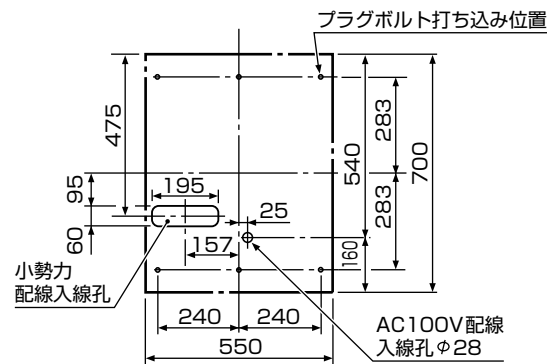
1 取付位置を決め、取付用プラグボルトを打ち込む。

- プラグボルト(M8)(市販品)の打ち込みと、配線を引き込む位置は下図の取付金具の取付寸法図のとおりです。
- この商品の取付穴寸法はφ14です。
- 本体の底上げは28mmです。
- AC100V配線と小勢力配線を下図の位置より引き出してください。

注 本体の操作スイッチ部が床面から800mm~1500mmの位置になるように取り付けてください。【図1参照】

取付金具の取付寸法図

●10~30回線の場合



●35~50回線の場合

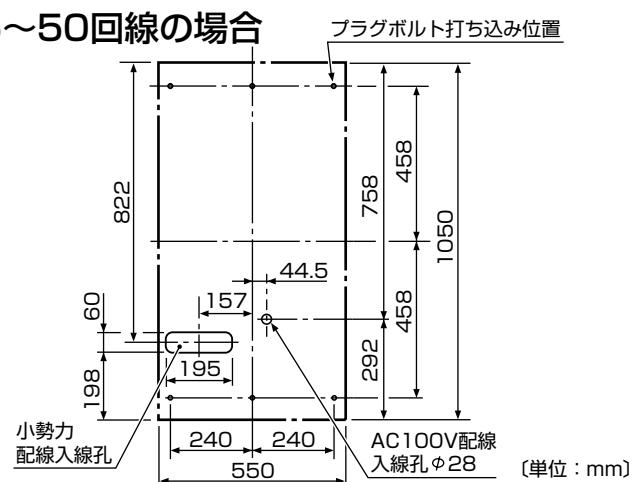
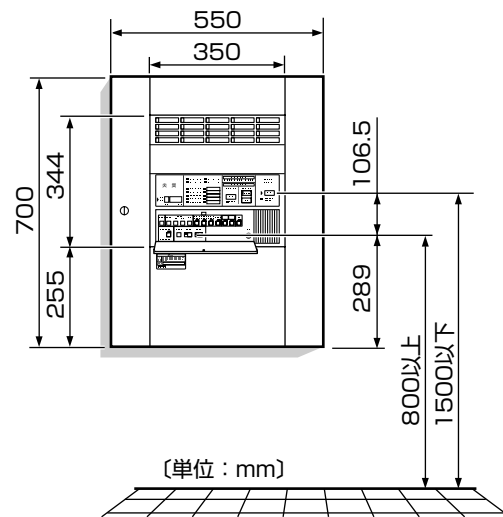
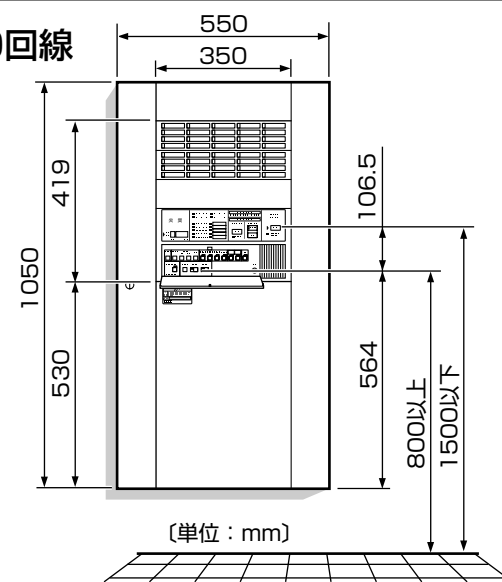


図1

●10~30回線の場合

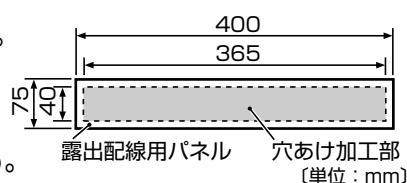


●35~50回線の場合



露出配線する場合

1. 本体天面の露出配線用パネルを取りはずす。
2. 露出配線用パネルに入線孔をあける。
(●●●●の範囲で穴あけ加工を行ってください。)
3. 露出配線用パネルを本体天面に取り付け。



警告

入線孔をあける場合は必ず露出配線用パネルをはずしてから行ってください。金属片が本体内部に入り、機器の故障の原因となります。

2 入線を行う。

- AC100V配線および小勢力配線を分割して入線してください。

3 プラグボルト(6ヶ所)で取付金具を壁面に固定する。

- 注 ●表裏を間違わないように図のように取り付けてください。
 - 床面に対し、垂直になるように取り付けてください。
- 傾斜角が大きいと受信機の扉の開き方が悪くなる場合があります。

4 本体を取付金具に引っ掛ける。

5 付属の取付ネジ(5ヶ所)で本体を固定する。

6 配線する。*「接続方法」参照(9~19ページ)

- 注 AC100V配線を接続する場合、電源端子カバーをはずして接続してください。結線後、電源端子カバーを必ず元に戻してください。

7 交流電源スイッチを「入(ON)」側にする。

8 電池のコネクタを取り付ける。

9 本体の扉を閉める。

〔コモン割付表、移報端子接続表、諸警報地区窓名称ラベルは、取付用部品「工事用」に入っています。〕

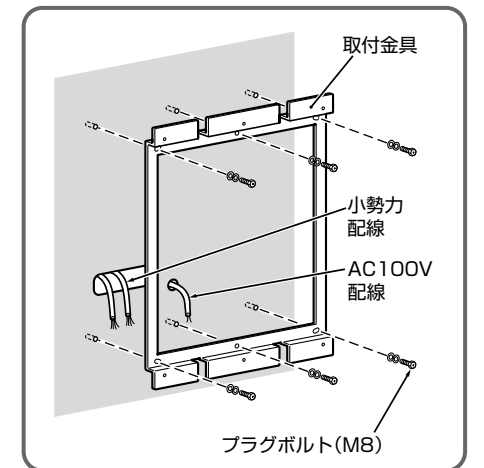
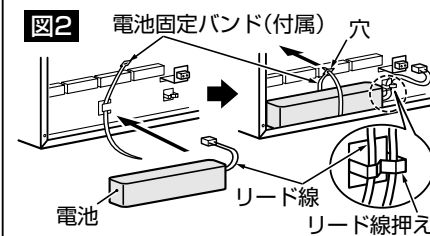
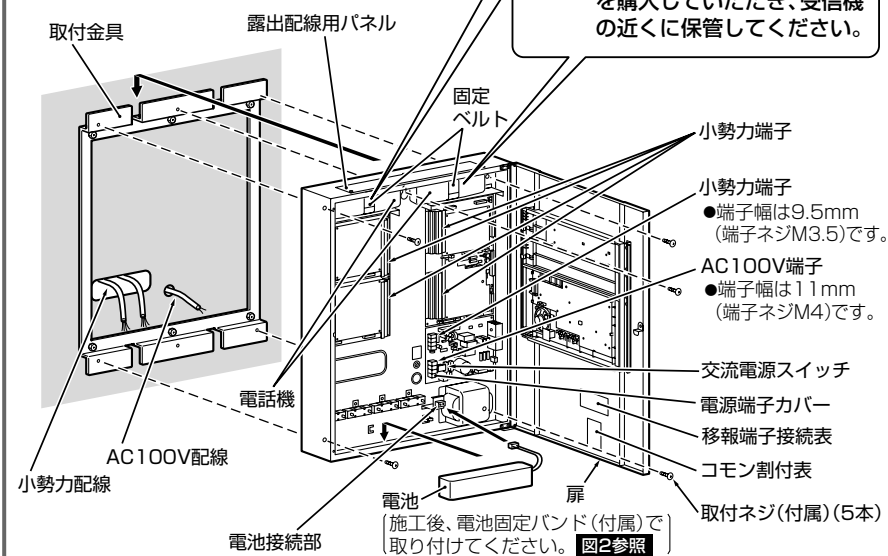


図2

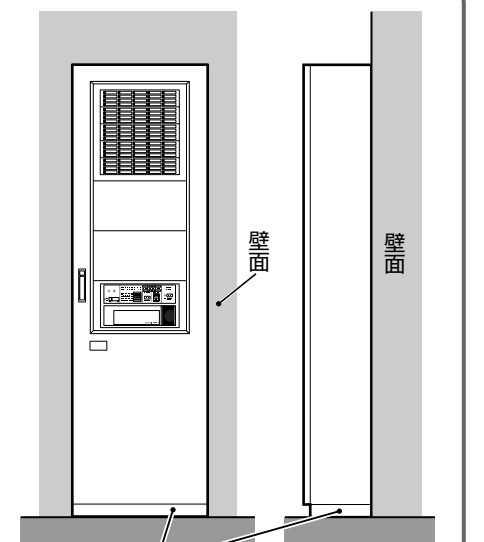


- 電池固定バンド(付属)の先端を電池固定バンドの穴に通して、電池を固定し、リード線押さえに電池のリード線をはさみ込んでください。

- 注 ●この部分に、固定ベルトを利用して電話機を収納してください。
- 露出配線用パネルを利用して露出配線する場合は、この部分は利用できません。別途、収納袋(BV995288)を購入していただき、受信機の近くに保管してください。



■自立型の場合



- 商品外形寸法(タテ×ヨコ×奥行)
2000(チャンネルベース含む)×600×300
(単位: mm)

注意

必ず守る
チャンネルベースは取付面の水平を確認し、適切なアンカーボルトを使用し、しっかりと取り付ける。設置に不備があると事故の原因となります。

注 必要に応じて転倒防止の処置をしてください。

5. 全体の接続方法

警告

必ず守る

AC100V用電源端子は確実に締め付ける。
締め付けが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。

速結端子は確実に差し込む。
差し込みが不十分な場合、不動作の原因となります。

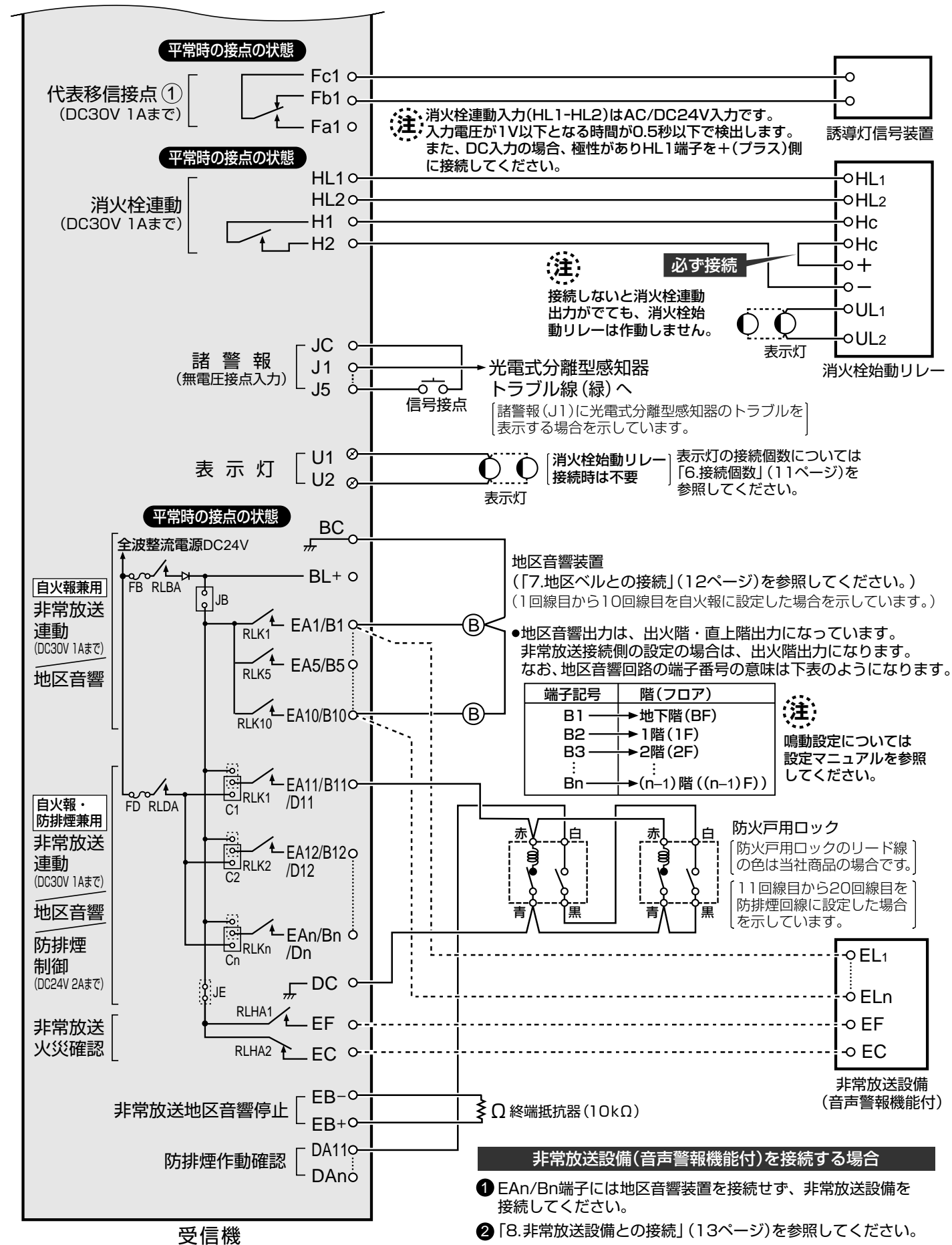
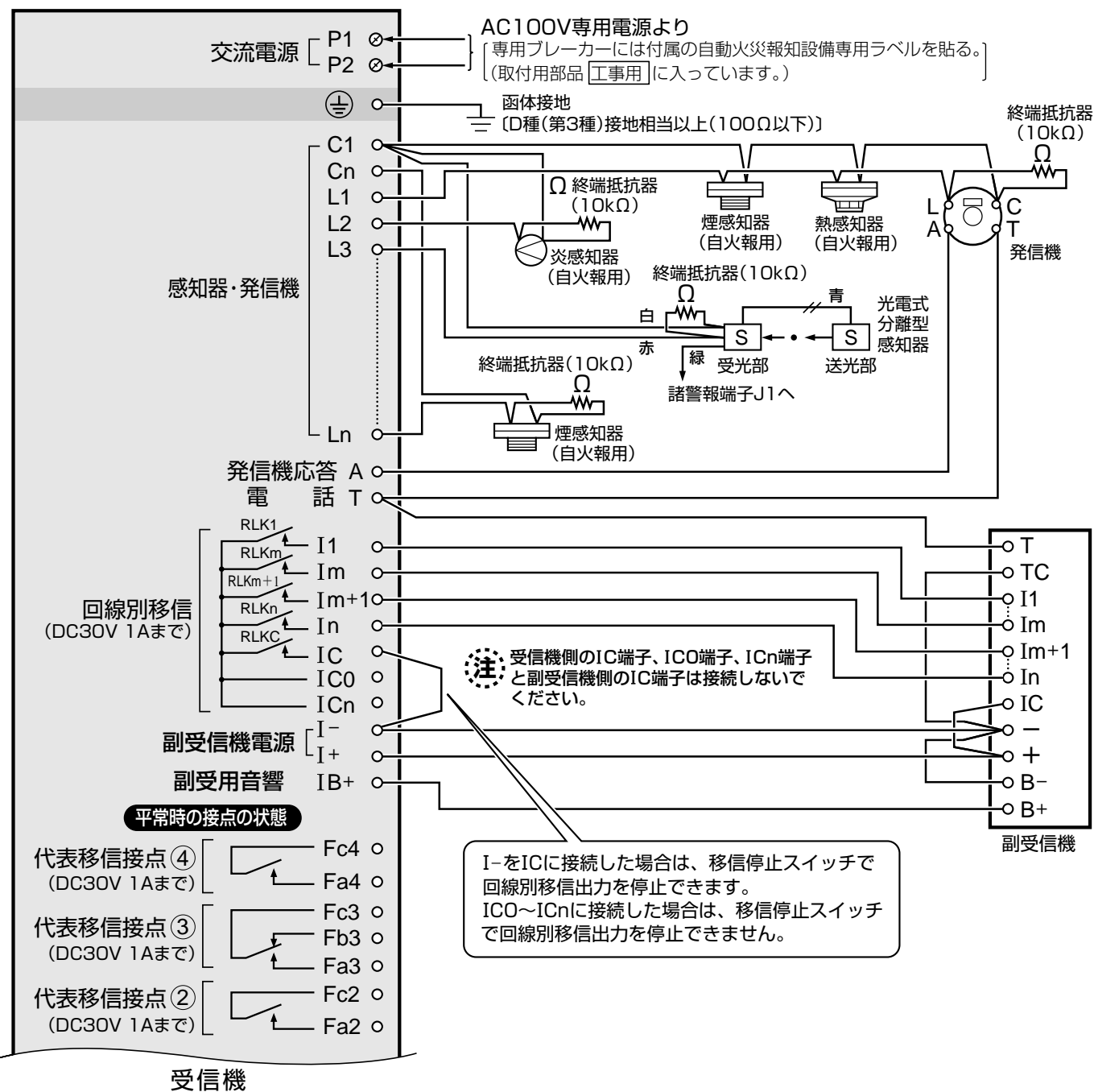
電源 (AC100V) を切り、予備電源用の電池を取りはずした状態で施工する。
活線工事は感電や発熱・故障の原因となります。

強電ライン・AC100V配線と小勢力配線はできる限り離して施工する。
強電ライン・AC100V配線が小勢力配線の近くにあると誤動作の原因となります。

禁止

小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。
発火・発煙の原因となります。

- 非常放送設備を設置しない場合または非常放送中に地区音響を停止しない場合は、必ず終端抵抗器を受信機のEB+-EB-間に接続してください。非常放送地区音響停止端子(EB+-EB-)に終端抵抗器が接続されていないとトラブル灯が点滅し、トラブル確認した場合(取扱説明書参照)、回線選択表示窓に「E4」が表示されます。
- 回線種別が「諸警報回線(自己保持あり・作動音響なし)」[諸警報回線(自己保持あり・作動音響あり)]の場合、自己保持するまでの最小入力時間は1秒以上かかります。



6. 接続個数

建物のリニューアル時などで受信機を交換する場合は、地区音響装置・表示灯・感知器・総合盤の電源容量が不足する場合があります。交換前に必ず、現在接続されている地区音響装置・表示灯・感知器・総合盤の消費電流を確認してください。

(地区音響装置・表示灯・感知器・総合盤も、現行品に交換することをおすすめします。)

●配線方法は9～10ページを参照ください。

接続機器		接続個数
地区音響装置	DC24V 10mA	10・15回線：30コまで 20回線：45コまで 25・30回線：60コまで 35回線以上：80コまで
	DC24V 30mA	10・15回線：10コまで 20回線：15コまで 25・30回線：20コまで 35回線以上：26コまで
表示灯	発光ダイオードタイプ (AC・DC24V 9mAタイプ)	10～20回線：46コまで 25回線以上：93コまで
	白熱球タイプ (30V 2Wタイプ)	10～20回線：7コまで 25回線以上：14コまで
感知器 (1回線当たり)	Ⓐ 熱サイバーセンサ	80コまで
	Ⓑ 煙サイバーセンサ	30コまで
	Ⓒ 煙サイバーセンサ (熱検知機能付、2信号)	20コまで
	Ⓓ 光電式分離型	1セットまで
	Ⓔ 炎	20コまで

●上記の感知器が混在する場合は、下記の方程式により接続数を決めてください。

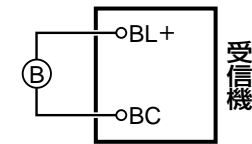
$$A + 4(C + E) + \frac{8}{3}B \leq 80, D = 1$$

●当社光電式分離型感知器と他の感知器との混在接続はできません。

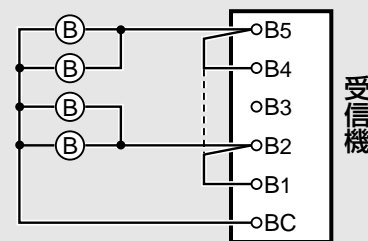
●熱感知器(一般型熱感知器・差動式分布型感知器・差動式スポット型感知器(試験口付))は、1回線当たりの接続数の制限はありません。

7. 地区ベルとの接続

【1】一斉鳴動



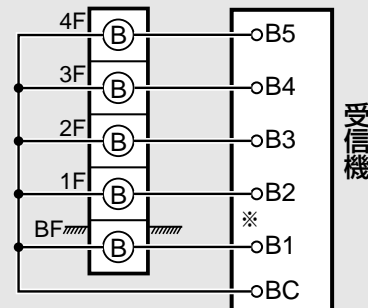
【2】ブロック鳴動



●鳴動設定については設定マニュアルを参照してください。

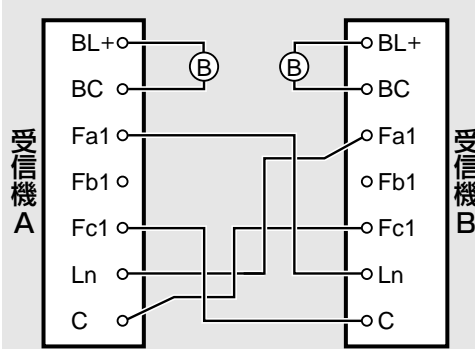
【3】出火階・直上階鳴動

※地下階がない場合は、B1端子を使用しないでください。



●鳴動設定については設定マニュアルを参照してください。

【4】相互鳴動 (受信機2台の連動接続)



●下記以外の受信機と接続する場合には、当社へご相談ください。
●相互鳴動設定については、設定マニュアルを参照してください。

接続可能な受信機

●BVF17□□H, BVF18□□F, BVF33□□H, BVF34□□F(□□は回線数)

●必ず受信機の地区ベル接続容量以内でご使用ください。
●建物のリニューアル時などで受信機を交換する場合は下記内容にご注意ください。

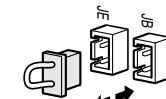
- 地区ベルが当社BV9212・BV9213の場合はBV92631・BV92641に、当社BV9214・BV9214Kの場合はBV92541・BV92551に交換が必要です。
- 地区ベルが他社製の場合は、地区ベルのメーカーに駆動方式が電磁式でないことを確認してください。電磁式の場合は、受信機の内部回路を破壊するおそれがあります。

地区音響／非常放送切替スイッチ、非常放送／地区音響／防排煙制御切替コネクタの設定

●電池のコネクタを抜いて、交流電源スイッチを「切(OFF)」側にしてから設定してください。

●地区音響／非常放送切替コネクタ(JB/JEコネクタ)

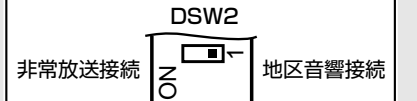
●コネクタの抜き差し方



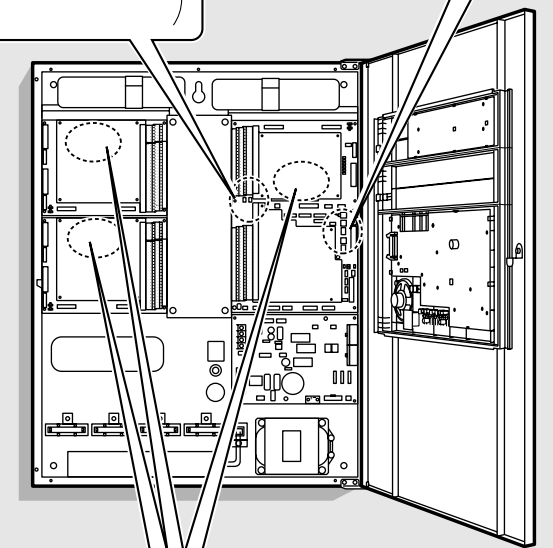
※まっすぐ抜いてください。

コネクタを「JB」側に設定してください。
(出荷時は、「JB」側に設定してあります。)

●地区音響／非常放送切替スイッチ

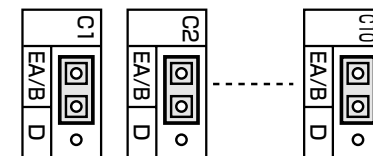


【2】・【3】・【4】の接続の場合、「地区音響接続」側に設定してください。
(出荷時は、「地区音響接続」側に設定してあります。)



●非常放送／地区音響／防排煙制御切替コネクタ

●コネクタの抜き差し方



※まっすぐ抜いてください。

【2】・【3】・【4】の接続の場合、該当する回線のコネクタを「非常放送／地区音響(EA/B)」側に設定してください。
(出荷時は、自火報兼用回線については「非常放送／地区音響(EA/B)」側に、自火報防排煙兼用回線については「防排煙制御(D)」側に設定してあります。)

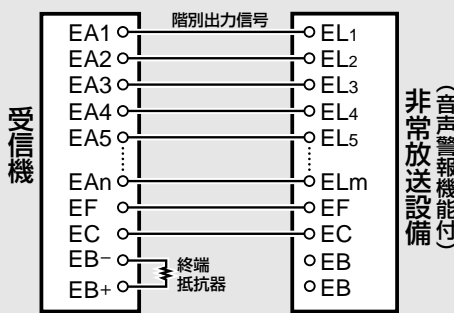
8. 非常放送設備との接続

- 注**
- 一斉鳴動移行時間(TC)の設定は「移行しない(OFF)」に設定してください。(設定マニュアル参照)
 - 接続後は受信機の電源を入れてから非常放送設備の電源を入れてください。
 - 絶縁抵抗試験をするときは、非常放送設備の内部回路が破損するおそれがありますので、必ず非常放送設備への配線は必ずしてから行ってください。
 - 非常放送設備側の接続端子に終端抵抗器10kΩを接続してください。
 - EC-EF接点が閉じるのは、発信機発報または第2報目の感知器発報の場合です。
一斉鳴動移行時間(TC)による動作では、EC-EF接点は閉じません。

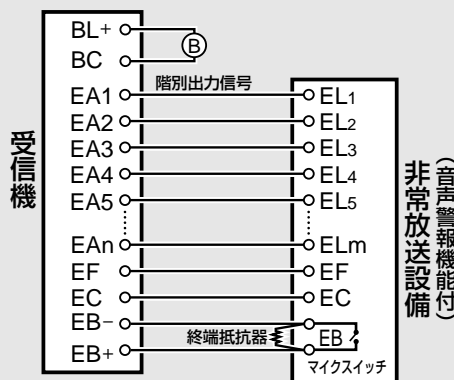
非常放送設備(音声警報機能付)

注 鳴動設定については設定マニュアルを参照してください。

[1] 地区ベルを接続しない場合



[2] 地区ベルを接続する場合(一斉鳴動)

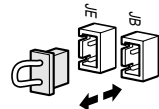


地区音響/非常放送切替スイッチ、非常放送/地区音響/防排煙制御切替コネクタの設定

注 電池のコネクタを抜いて、交流電源スイッチを「切(OFF)」側にしてから設定してください。

●地区音響/非常放送切替コネクタ(JB/JEコネクタ)

●コネクタの抜き差し方



※まっすぐ抜いてください。
コネクタを「JE」側に設定してください。
(出荷時は、「JB」側に設定してあります。)

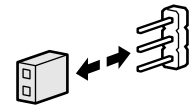
●地区音響/非常放送切替スイッチ DSW2

非常放送接続 地区音響接続

「非常放送接続」側に設定してください。
(出荷時は、「地区音響接続」側に設定してあります。)

●非常放送/地区音響/防排煙制御切替設定コネクタ

●コネクタの抜き差し方

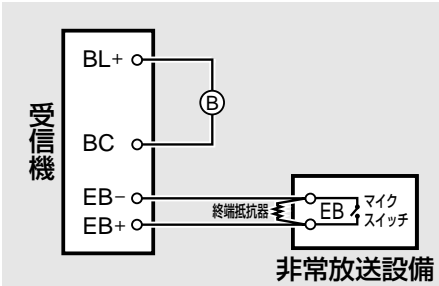


※まっすぐ抜いてください。
該当する回線のコネクタを「非常放送/地区音響(EA/B)」側に設定してください。
(出荷時は、自火報兼用回線については「非常放送/地区音響(EA/B)」側に、自火報防排煙兼用回線については「防排煙制御(D)」側に設定してあります。)

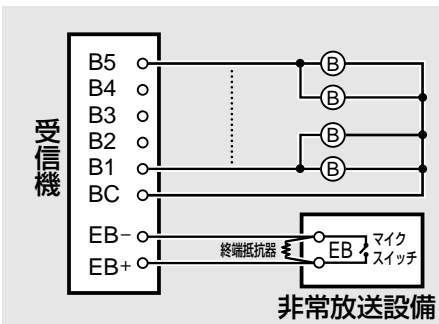
非常放送設備(音声警報機能なし)

注 鳴動設定については設定マニュアルを参照してください。

[1] 一斉鳴動



[2] 出火階・直上階鳴動

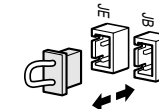


地区音響/非常放送切替スイッチ、非常放送/地区音響/防排煙制御切替コネクタの設定

注 電池のコネクタを抜いて、交流電源スイッチを「切(OFF)」側にしてから設定してください。

●地区音響/非常放送切替コネクタ(JB/JEコネクタ)

●コネクタの抜き差し方



※まっすぐ抜いてください。
コネクタを「JB」側に設定してください。
(出荷時は、「JB」側に設定してあります。)

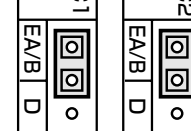
●地区音響/非常放送切替スイッチ DSW2

非常放送接続 地区音響接続

「地区音響接続」側に設定してください。
(出荷時は、「地区音響接続」側に設定してあります。)

●非常放送/地区音響/防排煙制御切替コネクタ

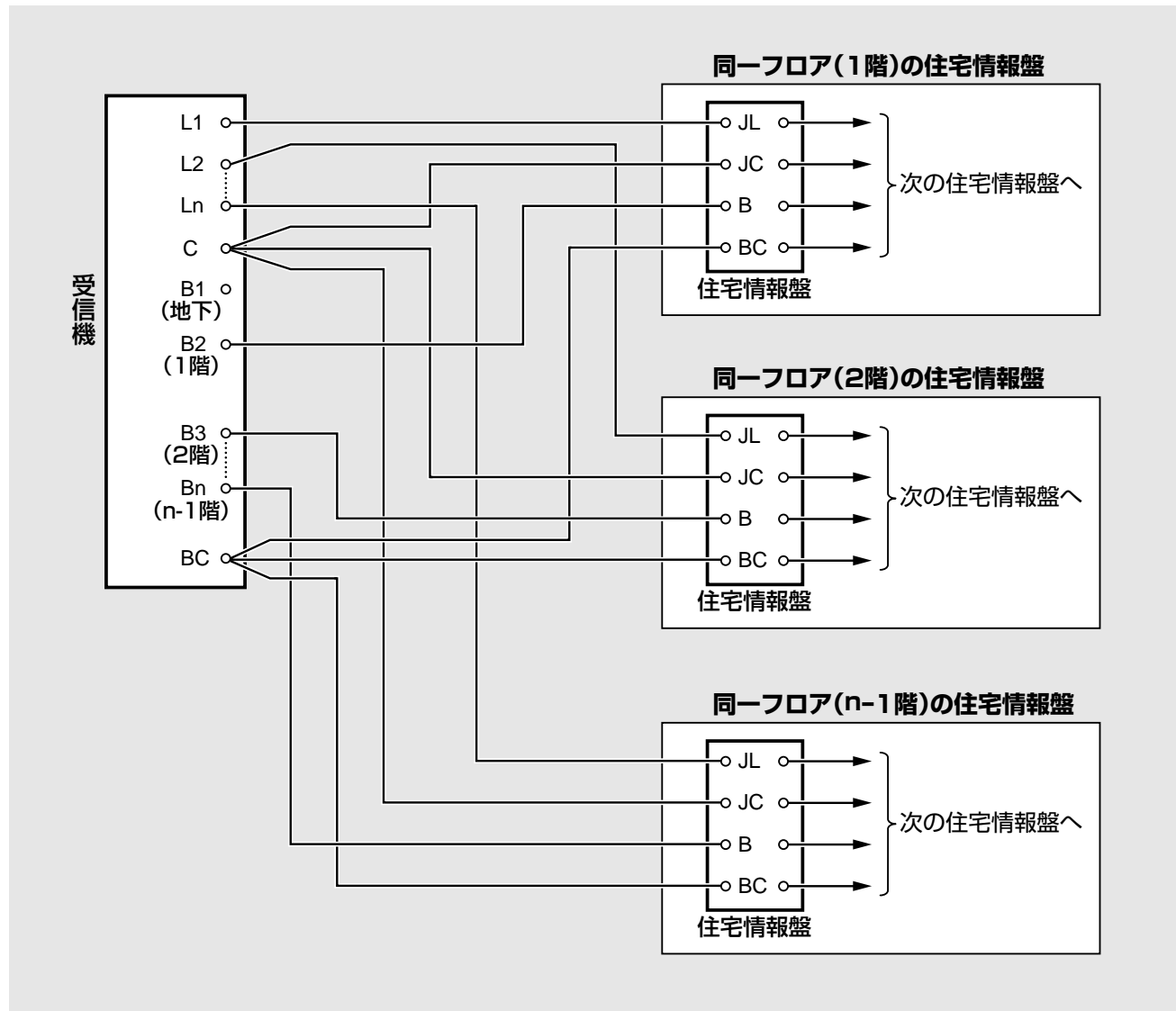
●コネクタの抜き差し方



※まっすぐ抜いてください。
該当する回線のコネクタを「非常放送/地区音響(EA/B)」側に設定してください。
(出荷時は、自火報兼用回線については「非常放送/地区音響(EA/B)」側に、自火報防排煙兼用回線については「防排煙制御(D)」側に設定してあります。)

9.住宅情報盤との接続

- 回線種別の設定は「自火報回線(非蓄積)」に設定してください。(設定マニュアル参照)
- 地区音響鳴動設定(現場調整設定)が必要です。(設定マニュアル参照)
- 一斉鳴動移行時間(TC)の設定は「移行しない(OFF)」に設定してください。(設定マニュアル参照)
- 住宅情報盤は受信機の感知器端子(Ln, C)、地区音響端子(Bn, BC)を使用して接続してください。



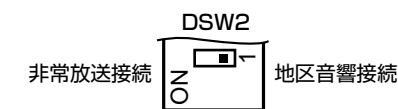
■住宅情報盤の接続個数

受信機の回線数	地区音響容量	住宅情報盤の接続個数
10・15回線	300mA	100コまで
20回線	450mA	150コまで
25・30回線	600mA	200コまで
35回線以上	800mA	266コまで

地区音響／非常放送切替スイッチ、非常放送／地区音響／防排煙制御切替コネクタの設定

注: 電池のコネクタを抜いて、交流電源スイッチを「切(OFF)」側にしてから設定してください。

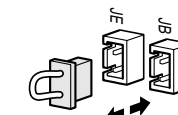
●地区音響／非常放送切替スイッチ



「地区音響接続」側に設定してください。
(出荷時は、「地区音響接続」側に設定してあります。)

●地区音響／非常放送切替コネクタ (JB/JEコネクタ)

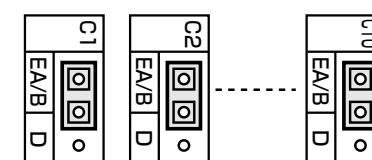
●コネクタの抜き差し方



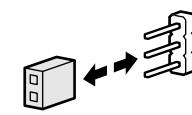
※まっすぐ抜いてください。

コネクタを「JB」側に設定してください。
(出荷時は、「JB」側に設定してあります。)

●非常放送／地区音響／防排煙制御切替コネクタ



●コネクタの抜き差し方



※まっすぐ抜いてください。

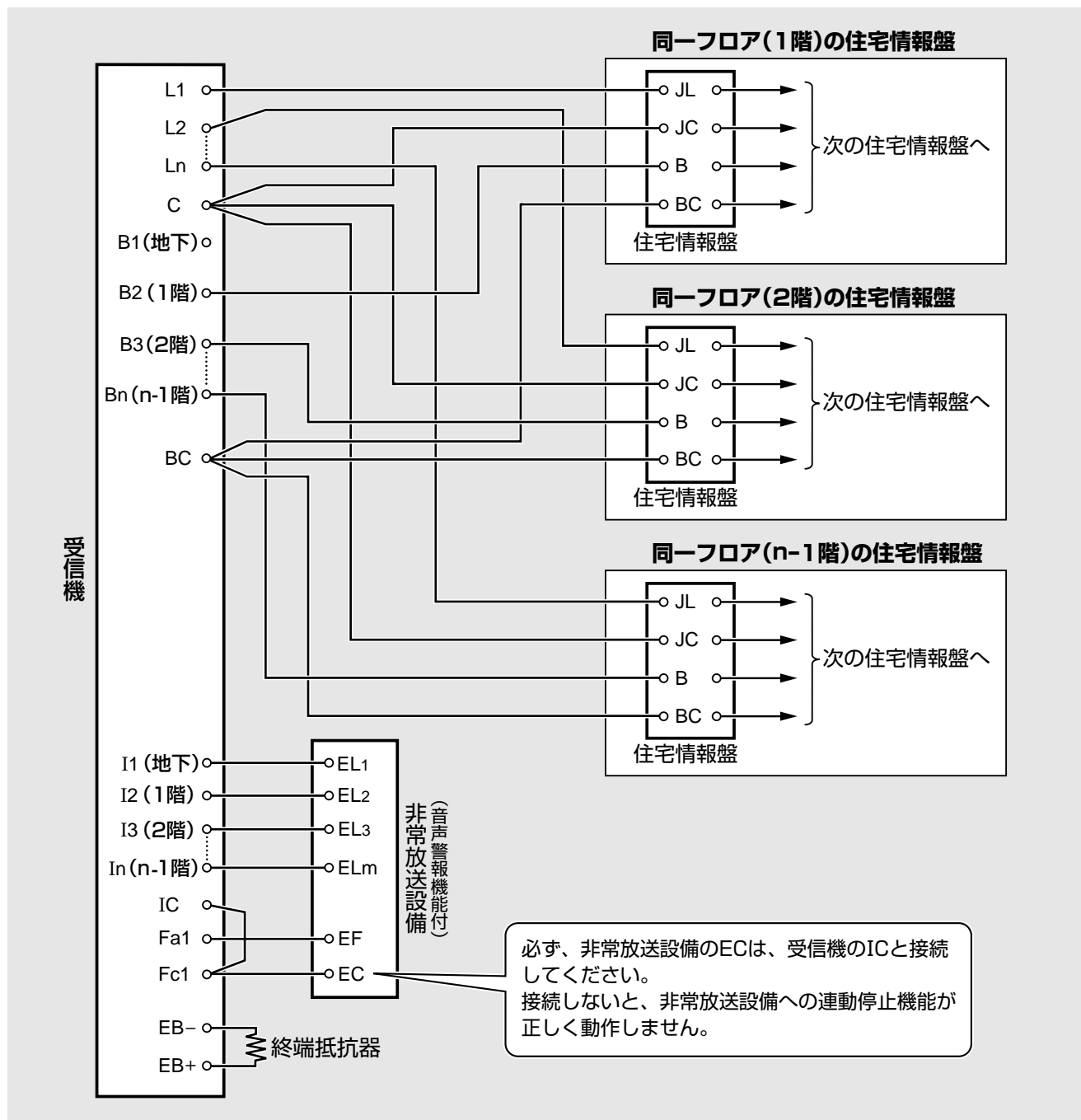
該当する回線のコネクタを「非常放送／地区音響(EA/B)」側に設定してください。

(出荷時は、自火報兼用回線については「非常放送／地区音響(EA/B)」側に、自火報防排煙兼用回線については「防排煙制御(D)」側に設定してあります。)

10. 住宅情報盤と非常放送設備(音声警報機能付)との接続



- 回線種別の設定は「自火報回線(非蓄積)」に設定してください。(設定マニュアル参照)
- 地区音響鳴動設定(現場調整設定)が必要です。(設定マニュアル参照)
- 回線別移信設定(現場調整設定)が必要です。
回線別移信(In)出力が出火階出力になるように設定してください。(設定マニュアル参照)
- 一斉鳴動移行時間(TC)の設定は「移行しない(OFF)」に設定してください。(設定マニュアル参照)
- 代表移信の設定は「CO- : 移信出力する(ON0)」「C9- : 移信停止する(ON2)」に設定し、それ以外の設定は「設定なし(OFF)」に設定してください。(設定マニュアル参照)
自火報回線の火災のみで出力し、非常放送連動停止スイッチのみで停止できます。
- 非常放送連動停止スイッチ操作による回線別移信停止設定は、「停止する(ON)」に設定してください。(設定マニュアル参照)



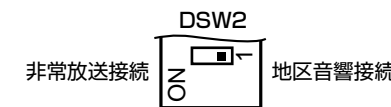
■住宅情報盤の接続個数

受信機の回線数	地区音響容量	住宅情報盤の接続個数
10・15回線	300mA	100コまで
20回線	450mA	150コまで
25・30回線	600mA	200コまで
35回線以上	800mA	266コまで

地区音響/非常放送切替スイッチ、非常放送/地区音響/防排煙制御切替コネクタの設定

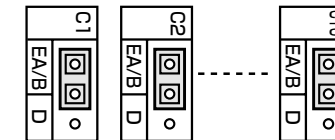
注: 電池のコネクタを抜いて、交流電源スイッチを「切(OFF)」側にしてから設定してください。

●地区音響/非常放送切替スイッチ

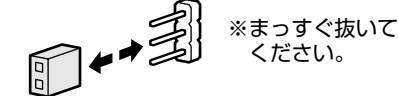


「地区音響接続」側に設定してください。
(出荷時は、「地区音響接続」側に設定してあります。)

●非常放送/地区音響/防排煙制御切替コネクタ



●コネクタの抜き差し方

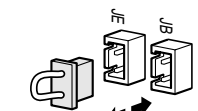


該当する回線のコネクタを「非常放送/地区音響(EA/B)」側に設定してください。

(出荷時は、自火報兼用回線については「非常放送/地区音響(EA/B)」側に、自火報防排煙兼用回線については「防排煙制御(D)」側に設定してあります。)

●地区音響/非常放送切替コネクタ (JB/JEコネクタ)

●コネクタの抜き差し方



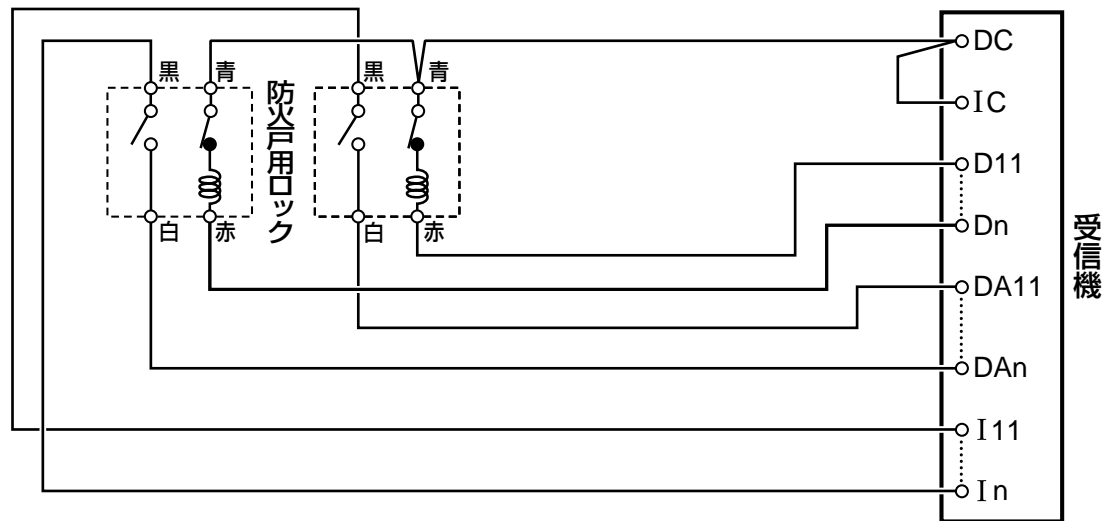
コネクタを「JB」側に設定してください。
(出荷時は、「JB」側に設定してあります。)

11. 防排煙機器との接続

- 注 ●防火戸用ロックのリード線の色は、当社商品の場合です。
●内部の非常放送／地区音響／防排煙制御切替コネクタの変更と回線種別設定(現場調整設定)が必要です。(設定マニュアル参照)

●防火戸手動閉鎖で地区灯を点灯させない場合

防排煙用感知器回線および防火戸用ロックの作動により地区灯が点灯します。



12. 地区表示・諸警報表示・その他のラベル表示について

1. 地区表示

- 取扱説明書の「地区ラベルの交換」を参照してください。

2. 諸警報表示

- 取扱説明書の「諸警報表示部について」を参照してください。

3. 自動火災報知設備専用ラベル

- 専用ブレーカーの近くに貼り付けてください。

13. 施工後の確認方法

●受信機は、下記の試験をしてください。(取扱説明書参照)

- 火災試験
- 一斉試験
- 電池試験
- 防排煙個別起動制御
- 防排煙個別復帰制御

●接続した感知器は下記の動作試験をしてください。

●注 詳細は、各試験器に付属の取扱説明書を参照してください。

- 熱感知器(差動式・定温式・補償式スポット型)の場合は、加熱試験器で加熱試験をしてください。
- 煙感知器(光電式・イオン化式スポット型)の場合は、加煙試験器で加煙試験をしてください。
- 差動式分布型感知器(空気管式)の場合は、火災作動試験・作動継続試験をしてください。(取扱説明書参照)

●絶縁試験をする場合

- 受信機の絶縁試験を行う場合は、非常放送設備への配線ははずしてから行ってください。
- 外部配線相互間の絶縁試験を行う場合は、感知器・終端抵抗器・受信機の外部配線を切り離して行ってください。
また、絶縁抵抗が低下している場合は、周辺機器を破壊するおそれがあるので事前にテスターで抵抗値の確認を行ってください。

パナソニック株式会社 システム機器ビジネスユニット

〒514-8555 三重県津市藤方1668番地

電話 ☎ 0120-283338 FAX ☎ 0120-551626

© Panasonic Corporation 2012

8A3 196 00005 M0707-40112A